

宮日連載
「原画」

ダビデの夏

—大上敏男展—

2005年11月11日(金)～11月27日(日)



- 開館時間 : 午前9時から午後5時
 <入館は午後4時30分まで>
- 休館日 : 月曜日と11月24日(木)
- 観覧料 : 無料
- 主催 : 高鍋町美術館・高鍋町教育委員会
 高鍋町
- 後援 : 宮崎日日新聞社
 川南町・川南町教育委員会
 都農町・都農町教育委員会
 NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・エフエム宮崎

記念講演会
日時: 11月20日(日)
 午後1時30分
講師: 押川 國秋 氏
 「ダビデの夏」作者
演題: 「ダビデの夏を終えて」
会場: 美術館多目的ホール
☆ 申し込みは美術館まで

高鍋町美術館

「ダビデの夏」は、宮崎日日新聞創刊65周年企画で2004年11月7日から303回にわたり紙面連載された作家押川國秋先生の連載小説で、氏の生まれ育った川南町と戦禍の中通った旧制高鍋中学校を中心に物語が展開され、懐かしい自然や風景が紙面いっぱいに広げられ、激動の時代に生きた家族、友人、それを取り巻く人々の生活のあり様が具に伝わり、多くの読者を魅了しました。

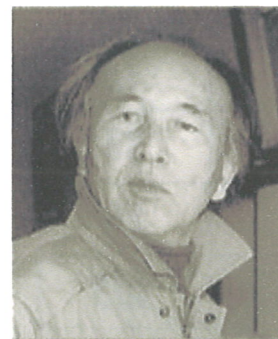
旧制中学時代の同窓生のよしみで引き受けられた大上敏男先生の挿絵は、物語をより一層具現化し、ストーリーのイメージを拡幅しています。何よりも、激動期をともに生きた合い通じるもの同士が醸し出してくれる絵と文の調和は読者の余韻を充分満たしてくれました。

大上先生はこの挿絵のために書店に行ったり、川南町と高鍋町にスケッチをするために何度も足を運ばれましたが、先生にとっては懐かしく過ごされた期間でもありました。

様々な思いのこもったダビデの夏シリーズがどんなことを語りかけてくれるか、楽しみです。

経 歴

大上 敏男



- 昭和 5年 都農町に生まれる。
高鍋高校師範科を卒業後教師として美術教育に力を注ぐ。
特に諸塚村七ツ山小学校時代には版画日本一に導く。
- 昭和58年 宮日展無鑑査。
- 昭和59年 光風会会員となる。
- 平成2年 光風会展で中沢弘光賞を受賞。
- 平成3年 会員最高賞を受賞。

宮日連載「原画」ダビデの夏
 ー大上敏男展ー作品リスト

章	題 名	挿絵数
1	藍より青く	32
2	カインの娘	43
3	ジュビロの川	6
4	竹刀と木刀	12
5	エロスの誘惑	39
6	河童のマーチ	34
7	山小屋のボレロ	15
8	野天風呂のデ1エット	13
9	滑稽なコスポリ	12
10	わかれて生きるときも	18
11	戦火のゆくえ	16
12	君死にたもうことなかれ	34
13	さらば夏の日	29
全作品数		303

大上敏男大作展ー作品リスト

題 名	サイズ
海辺の農家	8号
友愛社の庭	F20
川南駅	F20
道	51×110
鳥おどし	20号
鳥おどし	126×40
鳥おどし	120×51
揚水機	126×40
サンラザール駅	F100
メトロ	F100
メトロ	F100
水門	M30
街	F20
街	M30
白い丘	F40
広告のある建物	P30
裏町に見える	120×51
ガード下	67×118
港	P40